



関連部署にご回覧ください

LPGC Report

エルピーガス振興センターレポート

第42号 January 2011

☆ トピックス	
◆理事長 新年の挨拶	1
◆平成23年度LPガス関係予算のポイント	2
☆ プロジェクトニュース	
◆第23回世界LPガスフォーラムの概況	2
◆パービン&ガーツとの情報交換	3
◆韓国LPG工業会のセンター来訪	4
☆ 各部・室からのお知らせ	
◆広報室	
・「LPガスのある暮らし」2010年2号のご紹介	5
・LPガス講習会(法律問題の勉強会)のご案内	5
・「広報企画委員会」のご紹介	6
・本年度の「液化石油ガス地方懇談会」	6
◆技術開発部	
・平成22年度バイオ関連事業の紹介	7
◆調査研究部	
・LPガス国際セミナー2011開催案内	7
☆ 事務局からのお知らせ	
◆平成22年度第二回通常理事会・評議員会の開催案内	8
◆一般財団法人移行を申請	8
☆ 編集後記	8

トピックス

◆理事長 新年の挨拶



明けましておめでとうございます。

旧年中は、エルピーガス振興センターの事業活動に、ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございました。

新年を迎えるに当たり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、わが国のエネルギー政策の根幹となる「エネルギー基本計画」が、最近のエネルギーを取り巻く環境変化を踏まえ改定されました。そのなかで、LPガスは、「分散型エネルギー供給源で、災害時対応にも優れ、化石燃料の中で比較的CO₂排出が少ないクリーンなガス体エネルギーであり、重要なエネルギー源として引続き低炭素社会の実現にも資する利用を促進する。」と謳われました。

エルピーガス振興センターでは、地球温暖化対策等に資するものとして、LPガスの特性を活かしたバイオマスエネルギーの有効利用に関する技術調査を一昨年から開始しました。これまでの調査でその有効性が確認されたことより、バイオマス利用促進に向け実現性のあるビジネスモデル構築のための調査研究を進めております。最終的には、実証試験まで繋げたいと考えております。

また、わが国においては、低炭素社会の構築や少子高齢化社会の到来などから、オール電化攻勢に代表されるエネルギー間競争が益々激しくなるものと考えられます。これに対しては、安定供給及び競争力のある価格を確保し、安全で快適なLPガスの利用方法を多くの消費者に周知することが、有効な手立てとなります。

エルピーガス振興センターでは、わが国のLPガス安定供給の確保などを目的とするセミナーを毎年開催しております。本年は、第16回目となる「LPガス国際セミナー2011」を2月24日・25日の2日間の日程で開催いたします。これにより、中東とアジアの域内を中心とするLPガスの需給動向の把握や産ガス国とガス消費国との緊密な関係の維持と構築を図ります。また、コスト低減にも繋がる経営の合理化や流通の合理化などを図るLPガスの販売業経営実態調査や流通実態調査を実施しております。更に、LPガスの流通・取引に関する適切な情報を消費者に提供する広報事業にも力を入れております。

このように、エルピーガス振興センターは、LPガスが消費者に選ばれるエネルギーであり続けるよう、様々な活動を行ってまいります。

これからも、社会環境の変化に迅速に対応し、エルピーガス振興センターに求められているLPガス産業の活性化という使命の遂行に向けて、関係各位との緊密な連携のもと活動を進めてまいります。

本年も、エルピーガス振興センターの事業へのご理解とご支援をお願いし、LPガス業界の益々の発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



◆平成23年度LPガス関係予算のポイント

* 昨年末、平成23年度予算案が提示され、その中でLPガス関係の主な内容は以下の通りとなっています。

単位: 億円

《主な内容》

	〔22年度 予算額〕	〔23年度 予算案〕	〔増減〕
1. 流通合理化・需給高度化事業			
① 高効率ガス機器等導入補助(1/3補助)	—	(5.5)	(新規)
② 消費者相談事業・LPガス販売事業者指導支援事業 (定額補助)	(1.8)	(1.8)	(0)
③ 販売事業者構造改善推進事業(1/2補助)	(3.0)	(5.5)	(2.5)
④ LPガス充てん所統廃合補助事業(1/2補助)	(1.5)	(1.5)	(0)
⑤ LPガススタンド設置補助(1/2補助)	(2.9)	(1.9)	(△1.0)
⑥ 国際交流事業(定額補助)	(0.2)	(0.2)	(0)
2. 流通合理化調査事業			
① 家庭用プロパンガス小売価格等の情報提供調査及び石油ガス流通実態調査等	(1.0)	(0.8)	(△0.2)
② LPガス用FRP容器実用化調査及び消費者との意見交換等	(1.6)	(1.1)	(△0.5)
《その他関連事業》			
・ 家庭用燃料電池システム導入補助(差額の1/2補助等)	(67.7)	(86.7)	(19)
3. 備蓄事業			
① LPガス国家備蓄の推進	(248.4)	(269.1)	(20.7)
② LPガス民間備蓄の推進	(6.4)	(3.1)	(△3.3)

注) 上記の各予算項目の金額は、資源エネルギー庁公表資料に基づきセンターが作成。

プロジェクトニュース

◆第23回世界LPガスフォーラムの概況



2010年9月29日から10月1日の間、スペイン・マドリッドにて第23回世界LPガスフォーラム(テーマ:「LP Gas: Exceptional Energy(LPガス:卓越したエネルギー)」が開催されました。また、それに先立ち9月27-28日に世界LPガス協会(WLPGA)の総会・理事会、GAIN、GLOTEC等が開催されました。

今回のフォーラムは、世界LPガス協会の第23回年次フォーラムに加え、2010年 AEGPL(欧州LPガス協会)年次大会、AIGLP(中南米LPガス協会)第25回記念大会および第3回GTC(世界技術会議)の4つのイベントが合同で開催されました。また、サブサハラ(サハラ以南のアフリカ)におけるLPガスの開発に関連した会合も

並行して開催されました。

WLPGAの発表によると、大会の期間中に世界約70カ国から計2,889名が参加する、LPガス産業として最大の大会となりました。(内訳:フォーラム出席代表799名、展示会/ビジター2,090名、展示企業約105社) 我が国よりは、会議登録者29名他、展示会には伊藤工機(株)が例年通り出展しました。

9月29日はスペイン全土でゼネストが決行されたため、開会式は9月30日に変更されました。ハイライトは開会式で、御臨席のアストゥリアス公フェリッパ・ペイン皇太子の歓迎の挨拶をはじめとし、セバスチャン工業・観光・商務大臣他がスペイン政府としてのLPガス産業に対する強い期待と支援を示しました。

同日の世界のLPガス業界の8人のリーダーによる、LPガス産業の発展に向けた取り組みの進展や今後の取り組みについてのハイレベルラウンドテーブル(パネルディスカッション)では、当センター佐藤理事長(WLPGA理事)が、米国、オランダ、ナイジェリア、スペイン、仏国、英国のパネラーと共に参加し、日本のLPガス需給、オール電化・太陽光発電・太陽熱利用などの取り組みを紹介しました。

また、今回のフォーラム開催に合せ、ポーランドを出発したLPガス自動車会場に到着するという、欧州でのLPガス自動車の普及を印象付けるパフォーマンスもありました。

なお、次回フォーラムは2011年9月26日～29日カタール・ドーハにて開催、2012年9月にインドネシア・バリ、2013年はイギリス・ロンドンで開催することとなりました。

(調査研究部 根木)



[会場風景]

◆パービン&ガーツとの情報交換

H22年6月14日(水)にパービン&ガーツ副社長のケン・オットー氏が、エルピーガス振興センターを訪問し、LPガスに関する情報交換を行いました。

エルピーガス振興センターからは、日本のLPガス市場動向の情報を提供しました。また、ケン・オットー氏からは、世界のLPガス動向の説明及びセンターの質問に答えて非在来型天然ガス開発(シェールガス開発)状況の説明を受けました。

センターは、ケン・オットー氏にLPガス国際セミナー2011での基調講演の依頼を致しました。なお、本基調講演では、世界のLPガス動向に加え、15分間程度の時間を割いて非在来型天然ガス田の開発がLPガス供給に及ぼす影響を話して頂く予定です。

[参考]:シェールガス開発について

- ・ 近年の原油価格上昇や新たな採掘技術などにより、非在来型天然ガスの開発が行われ、生産構造が変化しつつある。
- ・ わが国のLPガスは、約75%が主として油田・ガス田などからの随伴ガスの輸入であり、残りが国内製油所等からの生産である。
- ・ 例えば、非在来型天然ガスが、従来型の天然ガス田から生産されるものより安価である場合、従来型天然ガス田の開発が遅れるなどにより、LPガス需給動向に大きな変化をもたらすことも危惧される。
- ・ わが国のLPガス供給基盤を安定・強化するには、非在来型天然ガスがもたらす将来的な影響を的確に把握する必要がある。

(調査研究部 岩田)



◆韓国LPG工業会のセンター来訪

平成22年10月7日(木)、11月30日(火)の両日に韓国LPG工業協会 副理事 ビュン-ヒョン ション氏 (BYUNG-HEON SHON)、課長 ヒュン-ジン ミン(HYUN-JIN MIN)氏が当センターに来られました。また、通訳として10月7日に韓国ガス新聞社 日本特派員 ドン-ソー カン(DONG-SOO KANG)氏、11月30日に名城大学 経済学部 教授 ソー-チョル リー(SOO-CEOL LEE)氏が参加されました。

目的;

韓国LPG工業協会は、充填所、輸入会社、石油精製会社のメンバー(約1800社)で構成されており、LPガスの振興・発展、スタンド・充填所の流通インフラ管理を主な業務としています。

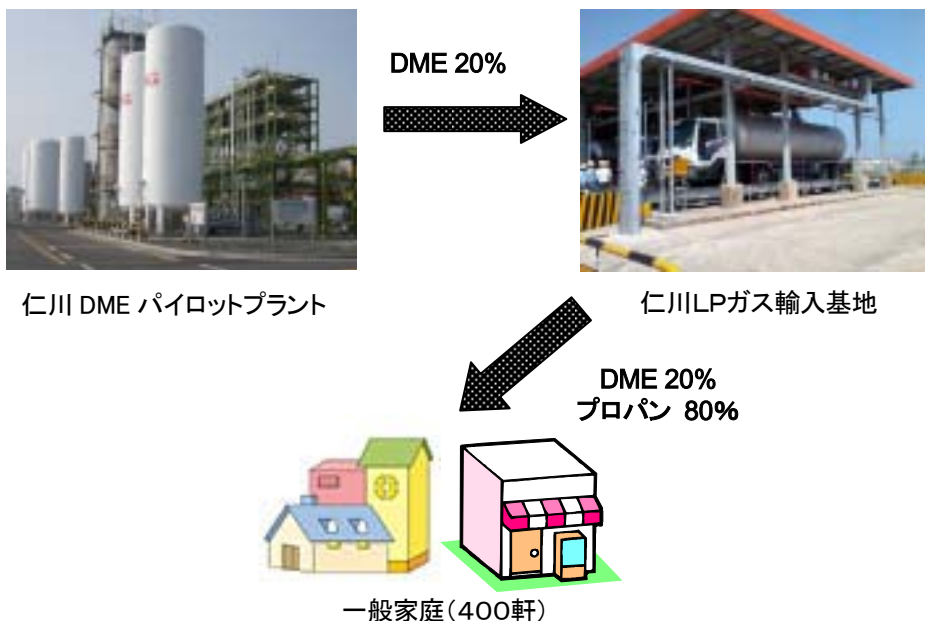
最近の韓国でのLPガスの需要低下から危機感を抱いており、将来のLPガス普及促進策を検討するために我が国の状況・制度等の調査に来られました。



11月30日面談
(左;ミン氏、中央;シヨン氏、右;リー氏)

韓国における最近のDME情報: DME混合LPガスのフィールドテスト

韓国では、平成22年10月から平成23年9月の期間で、充填所4ヶ所から400軒の家庭を対象に、DME20%混合LPガスを供給するフィールドテストを実施しています。まず、韓国ガス公社が仁川(インチョン)に建設した LNG を原料とした10トン/日のパイロットプラントで生産したDMEをタンクリーリーに20wt%相当を充てんし、その足でLPガス輸入基地(仁川)に移動しプロパンを80wt%充填します。LPガスとDMEの混合可能比率20wt%については、韓国安全公社にて過去2年間かけて検証し、問題ないことがわかっています。



「DME 混合 LP ガスの一般家庭供給フィールドテスト概要図」

韓国では、LPG 工業協会が中心となって、LPガスの普及促進策として、オートガスの優遇税制、DME-LPG 混合燃料の普及実証補助事業等を実施していますが、さらなる有効な促進策を模索していくとのことでした。LP ガスの普及促進については、わが国においても同様な課題があるので、今後も情報交換を継続して行きます。

(技術開発部 岩城)

各部・室からのお知らせ

◆広報室

「LPガスのある暮らし」2010年2号のご紹介

広報室では、LPガスをお使いの消費者向け啓発活動の一環としてパンフレットを発行していますが、今回は2010年9月末に発刊致しました「LPガスのある暮らし」2010年2号をご紹介します。本号はLPガスの料金の特集し、料金が個別販売店の自由料金制であること、料金制の概要、料金の変動とその仕組み、各地域のガス料金情報サイト紹介などをイラストや図表、グラフを活用し、分かり易く掲載しています。

「LPガスの料金はどうなっているの？」

LPガスの料金は、都市ガスや電気などのように国の認可料金制(公共料金)ではなく、小売店それぞれの自由設定であり、消費機器のガス使用量に合わせた料金メニューの設定やサービスや保守対策の内容により異なる場合があること、また、運搬費などの関連から地域による価格差が生じる場合もあることを説明しています。

LPガス料金の料金制にはいくつかのタイプがあり、一般的な料金制として「二部料金制」、より透明性の高い料金制として「三部料金制」の仕組みを紹介しています。

また、「LPガス料金の変動とその仕組み」として流通価格の推移、料金変動の要因、小売価格を改定する場合の手続きを説明するとともに、原料費調整制度(原料費の変動に応じて、一定期間ごとに従量料金単価<1 m³当りの単価>を調整する仕組み)を紹介しています。

そして日本全国各地域のLPガス価格を確認できる「日本エネルギー経済研究所 石油情報センター」のホームページでの検索方法とその例を掲載しています。



「LPガス販売店と契約する場合の注意点」

- ・LPガスの料金の仕組みはどうなっているのか。
- ・提示された料金が急に理由なく値上げされることはないか。
- ・契約の内容に不利な点はないか。
- ・保安やサービスの内容はどうなっているのか

契約する際の販売店への確認事項として、上の4点を紹介しています。

「LPガス販売店を変更する場合の注意点」

LPガス販売店を変更しようとする場合、現在契約している販売店から宅内の配管代を請求されることがあることから、販売店と契約を結ぶ際に交付される「液石法」第14条書面に目を通し、設備の所有関係などを確認することをお勧めしています。

また、内容を明記した書面・契約書の記載内容により、消費者の費用負担の有無を有無しを表にまとめて説明しています。

「安全についてのお知らせ」

ガス機器使用時の換気の大事さと、換気には「給気」と「排気」が必要であることを掲載しています。

LPガス講習会(法律問題の勉強会)のご案内

LPガス消費者からの問合せに適切なお応えができるよう、消費者相談員の方々を対象とするLPガス法律問題の勉強

会を、次のとおり開催いたします。

多様化、複雑化する料金・契約に関する法律問題を判り易くご説明致しますので、参加をご希望される方は、エルピーガス振興センターまでご連絡ください。なお、本勉強会の参加費は無料です。

開催予定日 2011年1月26日(水曜日)
時 間 18時30分～20時30分
会 場 虎ノ門 琴平タワー(金刀比羅宮) 3階会議室
(所在地):東京都港区虎ノ門一丁目2番8号
講 師 弁護士 野崎 修 氏(半蔵門総合法律事務所)
申込方法 広報室担当者宛に電話申込 (担当 安藤・池田 TEL 03-3507-0046)

「広報企画委員会」のご紹介

エルピーガス振興センターでは、消費者を対象とした普及啓発事業として液化石油ガス講習会、広報刊行物等情報普及関係、液化石油ガス懇談会等を実施しています。これらは何れも経済産業省からの委託事業である石油ガス流通合理化調査事業として実施されているものです。

事業が円滑かつ効果的に行なわれるように、実施に際しては石油ガス関連分野の専門家からなる「広報委員会」を設置して内容の検討を行なっています。現在のメンバーは下記のとおりで幅広い観点から意見を伺い事業に反映させているところです。

メンバー:消費者相談員・消費生活コンサルタント、LPガス関連団体員、学識経験者 など

議事内容:1) 年度計画についての検討、実施事業後の評価

2) 本事業の講習会・懇談会における消費者などからの意見・要望及び各消費者相談受付窓口での相談事項などに関する検討

3) 本事業の改善案 など

また、本委員会以外においてもエルピーガス振興センター賛助会員様を中心にLPガス関係者各位から本活動に係る貴重なご助言・ご意見を頂いております。これらのご意見につきましては、委託元であります経済産業省とも協議し可能な限り本事業に反映させて参る所存ですので、どうぞこれからも宜しく願い申し上げます。

本年度の「液化石油ガス地方懇談会」

経済産業省からの受託事業である石油ガス流通合理化調査事業の1つとして毎年液化石油ガス地方懇談会を、全国9ヶ所で実施しております。消費者団体とLPガス販売事業者、行政関係者等によりLPガスの流通や取引に関する諸問題について意見交換を行なうものです。本年度は次のとおり実施いたしました。

北海道10月12日	東北10月1日	関東11月11日
中部12月8日	近畿11月19日	中国11月5日
四国12月3日	九州11月30日	沖縄12月22日



経済産業省は、基調説明において6月18日に閣議決定された『エネルギー基本計画』二次改定においてLPガスが引き続き低炭素社会の実現にも資する重要なエネルギー源として利用を推進する位置づけとされた旨の説明を行いました。

本年度の懇談会の進め方につきましては、関係各位より既に様々なご意見を頂いております。懇談会の果たすべき役割を踏まえながら一層充実したものとすべく委託先である経済産業省とともに検討を進めてまいる所存です。

◆技術開発部

平成22年度バイオ関連事業の紹介

今年度経済産業省から「バイオガス混合LPガス有効利用システム調査」を受託しました。

契約調査期間は、平成22年10月29日～平成23年2月28日です。現在、精力的に調査を実施しています。

調査目的は次の通りです。我が国のエネルギー供給構造について、化石燃料への依存度の低減と供給安定性の確保等の両立が求められており、今般のエネルギー基本計画において「LPガスについても、バイオガスとの混合利用等により非化石エネルギー源の利用に取り組む。」とされています。このことから、LPガスの安定供給の確保に資する目的のため、LPガス産業への非化石エネルギー利用の可能性を調査します。

調査内容の概略は、以下の通りです。

1) 基本的な情報として、

- ・国内のバイオマスの賦存量分布の把握、国内のバイオマスの利用事例の解析から利用状況を把握する。
- ・その際、バイオマスを利用する事業は化石エネルギーのそれに比べて、一般的に事業採算性が劣るので、国・地方公共団体からの補助金等の支援制度の現状やバイオマス製品の利用によるLPガス等の既存のエネルギー製品へのコストアップの程度等を調査する。
- ・なお、バイオマス由来燃料を利用する大きな目的の一つは、CO2削減であり、その効果をLCAを使い定量的に評価する。
- ・これらを調査するに当たり、諸外国のバイオガスを非化石エネルギーとしての利用状況が大いに参考になると考えられるので、政策、利用方法、需給動向、研究開発動向等について、海外の事例調査を実施する。

2) 次に、自家消費や配管供給によるLPガスのバイオガスへの混合利用による事業の採算性、最適な事業形態を把握するため、バイオガスの発生源ごとにおける事業採算性を、事業採算性評価プログラムを活用して優劣評価する。その際、LPガスの優位性を判断するため、他の石油系燃料と比較検討する。特に、バイオガスとLPガスの混合利用の可能性が高いと考えられる施設園芸事業についてはより詳細な検討を加える。

3) 最後に、バイオマス由来の液体燃料のLPガス混合に関する技術的・経済的可能性を調査するため、液体燃料の中でも検討が不十分なバイオメタノールについて、既存の混合設備の現状、ブレンドする際の問題点等を明らかにする。

◆調査研究部

LPガス国際セミナー2011 開催案内

本年2月に「LPガス国際セミナー2011」を開催いたします。本事業は、国からの支援等を受け実施するもので、中東－アジア域内を中心とするLPガスの将来需給動向を把握し、産ガス国やガス消費国の関係者との緊密な関係維持を図ることで、わが国におけるLPガスの安定供給の確保を目的として開催いたします。

賛助会員の皆様には別途ご連絡いたしました。1月7日以降よりエルピーガス振興センターのホームページにて参加申込みの受付を開始いたします。

1. LPガス国際セミナー開催日程

期 間 H23年2月24日(木) 9:30～17:30、
25日(金) 9:00～12:30

場 所 第一ホテル東京(新橋)5階「ラ・ローズ」他

2. 本年度のテーマ 低炭素社会の実現に向けたLPガスの役割と競争力

(英文) LP Gas for a Low Carbon Society – its Role and Competitiveness

3. 講演者(予定)

- 1) 基調講演 パーヴァイン&ガーツ
- 2) 国 内 経済産業省、日本LPガス協会
- 3) 産ガス国 サウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタール、クウェート、イラン



2010年2月の会場風景

4)消費国 中国、韓国、インド、タイ

5)その他 国際機関:世界LPG協会、海上輸送会社:BWグループ、石化関係:ケミカルマーケットアソシエイツ など

事務局からのお知らせ

◆平成22年度第二回通常理事会・評議員会の開催案内

(財)エルピーガス振興センターの平成22年度第二回通常理事会及び評議員会の開催を、下記のとおり予定しています。

日時：平成23年3月18日(金) 評議員会 13:00～ 理事会 15:00～

場所：霞ヶ関ビル 東海大学交友会館 35F

議案：①平成23年度事業計画及び収支予算案

(予定) ②平成22年度の事業進捗状況及び収支見通し(報告)

③その他

◆一般財団法人移行を申請

(財)エルピーガス振興センターは平成22年10月13日、内閣総理大臣宛一般財団法人への移行認可申請を行いました。

編集後記

年末年始には、過ぎゆく年の出来事を振り返るとともに来る年が良き年であることを願う類の記事を書くのが恒例なのであろう。しかし、最近では1年の経過するのがあまりに早すぎるので、もう年が代わってしまうのかとの思いが先に立ってしまう。

各紙に1年を振り返っての重大ニュースなるものが掲載されているが、それを見てもその内容より時の過ぎ去ることの早さやめぐるしさに思いが至ってしまうのである。

年をとると時間の経過を早く感じるというが、何もそればかりではないだろう。世の中の状況、なかんずくエネルギーを取り巻く環境は今大きな転換期に来ており、本当にいろいろなことが矢継ぎ早に起こっているということではないだろうか。

しかし、そんな時にこそ今起こっていることの分析や将来に向けての対応について腰を据えてじっくりと考えることが重要であろう。特に、LPガスについては様々な立場の関係者が広範に存在するので、それぞれの立場の違いを越えて共通の認識に到達するだけでも、かなりの時間を要することと思われる。

是非、あわただしい中であっても時間をかけるべきところには時間をかけていきたいものである。回り道に見えてもそれが結局は近道となるのだろう。王道なした。

ちなみに、平成22年の十二支「寅」は、「春が来て草木が生ずる状態」をあらわすものだったそうだが、平成23年の「卯」は、更に進んで「草木が地面を覆う様子」を意味するとのこと。

また、平成23年の干支は「辛卯(かのとう)」である。この辛は「新しい」ことを意味しており、「草木が枯れた後に新たな世代が生まれようとする状態」を表しているという。

まさに今何かが生まれようとしているかのようだ。新たな世代とは何を意味することになるのだろうか？楽しみではある。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



財団法人 エルピーガス振興センター



〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号 虎ノ門一丁目森ビル4F

TEL : 03-3507-0041 (代表)
03-3507-0046 (広報室)

FAX : 03-3507-0048

ホームページURL : <http://www.lpgc.or.jp>

E メールアドレス : info@lpgc.or.jp



♪ 送付先変更等のご連絡は、FAX又はEメールでお願いします ♪